

2010(平成22)年度予算について

青山学院財務部

青山学院の2010(平成22)年度(以下、当年度)資金・消費収支予算は、予算会議の議を経て、収益事業部予算とともに、本年3月25日開催の評議員会、引続き開催の理事会で承認されました。

当年度の予算編成に先だち、財政健全化計画の継続を徹底するため2009年6月1日に理事長名で「2010年度予算編成方針」を各学校(以下各部)に発信しました。具体的には、「各部において収入拡大への努力を最大限行うこと、支出について、経常的経費はこれまでの予算と使用実績の差異を分析し、真に必要な適正金額を申請すること、臨時的経費についても必要性・緊急性を吟味し立案すること、通常の帰属収入で通常の消費を賄うこととし、さらに帰属収支差額の拡大に努めること」を基本方針とするものです。

その後各部から提出された予算案をもとに個別に事務折衝を行い、今回の予算編成となったものです。

2010年度予算は、建物の耐震補強工事を行うなど、安全・安心な教育環境に配慮するとともに、教育研究活動の充実に重点をおいたことなどが特徴です。

実施予定の主な案件としては、

青山キャンパス再開発の取組の一環として、大学A棟(仮称)新築、高等部校舎建替に伴う建設仮勘定の計上(42.3億円)

建物耐震補強工事費(青山学院記念館5.7億円、大学8号館・9号館3.7億円、中等部校舎1.4億円)

情報教育基盤ネットワークシステム費用(6.9億円)

国際交流推進関係経費(1.6億円)

等があります。

本学では、2008年5月に「青山学院の掲げる目標(命題・課題)とその取り組み体制について」という内容で教職員全員に向けて「理事長声明」が発信され、「人間教育の再創造」「環境の整備」「戦略の強化」の三つを柱とした174項目の課題を挙げ、それら一つ一つに関して各部・各事務局において、中・長期計画を立案し、その解決に取り組んでおります。当年度予算は、これらの課題を着実に実行していくことを念頭に編成したものです。

青山キャンパス再開発を進めるにあたり、今後も多額の資金需要が見込まれるなか、青山学院は、従来以上に厳正な予算執行に努めてまいります。

以上